

## 第4回 藤沢駅前街区エリアデザイン会議

日時：2023年(令和5年)5月25日(木)  
午後1時30分から  
場所：藤沢市役所分庁舎6階 6-3会議室

### 次 第

- 1 開 会
  
- 2 藤沢駅前街区エリアデザインコンセプトの検討
  
- 3 南北自由通路デザインの検討
  
- 4 閉 会

(配布資料)

- ・資料1 スケジュール
- ・資料2 藤沢駅前街区エリアデザインコンセプトの検討
  - ・藤沢駅前街区エリアデザインコンセプトの検討
  - ・藤沢駅前街区エリアデザインコンセプト(案)
- ・資料3 南北自由通路デザインの検討
  - ・南北自由通路デザインの検討
  - ・南北自由通路事業の第1期整備範囲
  - ・南北自由通路 現状写真
- ・資料4 自由通路のデザイン検討に向けた諸条件整理

## スケジュール

| 年度      | 月  | スケジュール | 会議   | 議題  |  |
|---------|----|--------|--|---|--|
| (令和4年度) | 6  |        |  |   |  |
|         | 7  |        | ●  | 第1回会議   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアデザイン検討の基本的な考え方</li> <li>・コンセプト(イメージ)の提示</li> </ul>      |
|         | 8  |        |  |   |  |
|         | 9  |        |  |   |  |
|         | 10 |        | ●  | 第2回会議   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアデザインコンセプト(たたき台)の提示</li> </ul>                           |
|         | 11 |        |  |   |  |
|         | 12 |        |  |   |  |
| 1       | ●  |        | 第3回会議  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアデザインコンセプト(素案)の提示</li> <li>・南北自由通路のデザイン(イメージ)の提示</li> </ul> |  |
| (令和5年度) | 2  |        |  |   |  |
|         | 3  |        |  |   |  |
|         | 4  |        |  |   |  |
|         | 5  |        | ●  | 第4回会議   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアデザインコンセプトの(案)の提示</li> <li>・南北自由通路のデザインの条件整理</li> </ul>  |
|         | 6  |        |  |   |  |
|         | 7  |        |  |   |  |
|         | 8  |        | ●  | 第5回会議   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアデザインコンセプト(案)の確定</li> <li>・南北自由通路のデザイン(素案)の提示</li> </ul> |
| 9       |    |        |  |   |  |
| 10      |    |        |  |   |  |
| 11      | ●  |        | 第6回会議  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北自由通路のデザイン(案)の提示</li> </ul>                                  |  |
| 12      |    |        |  |   |  |
| 1       |    |        |  |   |  |
| 2       | ●  | 第7回会議  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北自由通路のデザイン(案)の確定</li> </ul> |   |  |
| 3       |    |        |  |   |  |

反映

決定

南北自由通路の詳細設計へデザインを反映

## 藤沢駅前街区エリアデザインコンセプトの検討

## (1) コンセプト(素案)に関する委員意見

- ・明るい、自然、温もりはイメージが共有しやすいが、愛着、懐かしさは人によってイメージの幅が広いので、コンセプトとしては難しい。
- ・有機的は実際にデザインしようとするハードルが高い。
- ・デザインの方向性としては間違っておらず、要素を絞り込むのはもったいない。

## (2) コンセプト(案)作成にあたっての委員意見(留意事項)

## キャッチコピーについて

- ・応用が利いて、藤沢の立ち位置を言い当てるようなキーワード
- ・ある特定のデザインのノリやテイストを決めてしまわない、抽象的で射程距離の長い言葉
- ・各事業者の主張もあるなかで、ベースとしては一步抑えた中間領域みたいなキーワード

## コンセプトの位置づけについて

- ・コンセプトとは目指すべきテイスト、テーマであり、駅前らしさは文化的アイデンティティ。
- ・コンセプト策定の根本には地方都市の問題解決という側面がある。
- ・市民や利用者が本質的に求めていることをコンセプトとする。
- ・意匠的なデザインのテーマよりも先に「安全・安心」といったコアな機能を前提にしなければならないという話であり、それはデザインコンセプトの組み立てにも関わってくる。
- ・「これはしない」を示すなど、これだけは譲れないものを一つだけ決める方法もある。
- ・色々なボトムアップの想いを後付けでも当てはめられるよう余白を残した整理も必要。

## 方向性の整理の仕方について

- ・SDGsのように必要なメニューの中から選ぶ感じ
- ・素材を先に絞って組み合わせるのではなく、デザインの素材(カード)として整理
- ・ボキャブラリーをただ羅列するだけでは分かりづらいので、大事な概念として整理
- ・選択可能なデザイン要素の根幹に必要最低限の基盤の機能がある

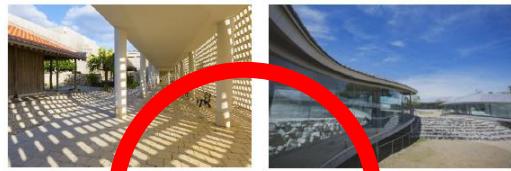
## (3) コンセプト(案)作成に向けた事務局の整理

- ・コンセプトは藤沢駅前に必要な機能と、藤沢駅前らしさの両方を兼ね備えたものとなるようにする。
- ・統一した駅前らしさを目指しつつも、各施設がコンセプトを選択可能な構成とします。
- ・キャッチコピーについては抽象的でありながらも、藤沢駅前が目指すべき方向性(立ち位置)を意識します。

## コンセプト(素案)で提示したデザインの方向性とその是非

**A.自然・明るさ**

空、太陽、海といった藤沢の豊かな自然を感じられるような明るいデザインとする。



木漏れ日のような光が感じられる空間のイメージ  
出典:沖縄フィルム・スタジオP(沖縄県立博物館)

自然素材を用いた海や風土を感じるイメージ  
出典:高松市の観光サイト(やしまー)

**A.温もり・優しさ**

誰もがこのまちに来て、自分に合った居場所を見つけられるような、温もり・優しさを感じるデザインとする。



都市の喧騒の中にも安らぎのあるまちの憩いの場となるイメージ  
出典:Transit Branding Studio P(シェアグリーン南青山)

曲線的な空間にゆるい境界の曖昧さがどこにいても居心地のいいイメージ  
出典:(株)空間デザインP(GRACE FARMS)

**A.愛着・懐かしさ**

誰もがこの場所へ訪れた際、まちへの愛着やふるさとを思い浮かべるような、懐かしさを感じるデザインとする。



都市の中にもどこか懐かしさを感じられる縁側のような空間イメージ  
出典:2022ハイバーニカルオフィシャルサイトP(Paris Convention and Visitors Bureau(Bercy Village))

昔ながらの建物の良さを残しつつも新しい時代にも対応したイメージ  
出典:2022ハイバーニカルオフィシャルサイトP(Paris Convention and Visitors Bureau(Bercy Village))

**B.にぎやかで開放的**

そこに行けばたくさんの人やモノと出会い、特別感・祝祭感のあるにぎやかで開放的なデザインとする。



内のにぎわいが外に伝わる開放的な空間イメージ  
出典:DAILY SABOTAGE P(Station F)

活発な人の活動を呼び起こす空間イメージ  
出典:ナノハブP(丸の内仲通り)

**B.有機的な結びつき**

たくさんの活動が混在しつつも、まち全体として協調性や一体性を感じられる有機的に結びついたデザインとする。



緩やかな曲線を利用した有機的なデザインイメージ  
出典:hacomiwa HP(らや工房@御殿場市)

様々な活動に境界がなく一体性を感じられるデザインイメージ  
出典:BAMBOO MEDIA HP(The CAMPUS)

**B.分かりやすく機能的**

行きたいところが分かりやすく、行ってみたいと思えるような機能的なデザインとする。



目指す場所が分かりやすくデザインされているイメージ  
出典:SONAR TOKYO SHOP P(GINZA SONY PARK)

周囲の活動や施設が認識できる見通しがよい空間イメージ  
出典:島根県芸術文化センターP(グラントウ)

# 藤沢駅前街区エリアデザインコンセプト（案）

## まちと人を紡ぐ。



藤沢駅前街区は、にぎやかな都心としての顔と温もりのある郷土感が調和したまちであり、多様な機能とそこに集まる人、活動が混ざり合うミックスカルチャーなまちとしての魅力を有するとともに、多くの人が行き交う湘南の玄関口として、人と場所をつなぐ役割を担っています。

まちを機能的な空間と人のアクティビティが感じられるデザインによって紡ぎ、まち全体を「藤沢駅前」が持つ、にぎやかさ、明るさ、優しさを感じ、その場所に集まりたい魅力ある場となることをめざします。

### ●第3回会議のコピー(素案)

- ・ハレノヒフジサワ
- ・ちょっと行ってくるね。駅前
- ・“ただいま”と“いってきます”で溢れるまち。
- 第3回会議で出たキーワード
- ・ふじさわニット
- ・Betweenness

- ・Bridge
- ・中間領域
- ・間

### ●その他のコピー案

- ・絡まる心地良さ
- ・ふじさわパレット
- ・デザインで、まちをひとつに
- ・ここが、藤沢駅です。

藤沢駅前街区のデザインコンセプトを表現するものとして、施設整備の際に意識すべき「**ひつような機能**」と、施設ごとに個性豊かなデザインを設えつつも、エリア全体の統一感が図られるような「**らしさ**」を5つのデザインアイテムとして設定しました。

## デザインアイテム① 安心・安全

子ども、高齢者、外国人など、誰もが安心して訪れることができる、安全に配慮したまちのデザインとします。

<デザインイメージ>

誰もが安心・安全に訪れることのできる使いやすいデザイン



参考例:とらや工房(haconiwa HP)

明るく開放的で人の目が届きやすい見通しのよいデザイン



参考例:熊本駅西口駅前広場(熊本県 HP)

## デザインアイテム② わかりやすい

初めて訪れた人も、それぞれが有する目的に応じて、スムーズな人の流れをつくる、分かりやすく機能的なまちのデザインとします。

<デザインイメージ>

目指す場所が分かりやすく表現されたデザイン



参考例:GINZA SONY PARK(SONAR TOKYO SHOPS HP)

情報が「活動」を刺激・誘発するような仕掛けがあるデザイン



参考例:JR 大阪駅での実証実験(日経ビジネス HP)

## デザインアイテム③ にぎやか

そこに行けばたくさんの人やモノと出会え、特別感・祝祭感のある、賑やかなまちのデザインとします。

<デザインイメージ>

様々な人の活動を喚起するようなにぎやかさを生み出すデザイン



参考例:Kosugi 3rd Avenue(Kosugi 3rd Avenue HP)

内のにぎわいが外にも伝わるようなにぎわいが伝播する開放的なデザイン



参考例:Station F(DAILY SABAH HP)

## デザインアイテム④ 自然・明るい

空、太陽、海といった藤沢の豊かな自然を感じられるような、明るく、自然あふれるまちのデザインとします。

<デザインイメージ>

自然素材を用いた海や風土を感じ、自然に触れられるようなデザイン



参考例:やしまー(高松市公式観光サイト)

木漏れ日のような日の光や木の温もりにより、明るさが感じられるデザイン



参考例:江東区立有明西学園(ウッドデザイン賞 HP)

## デザインアイテム⑤ 温もり・優しい

誰もがこのまちに来て、自分にあった居場所を見つけられるような、多様で、温もりや優しさを感じるまちのデザインとします。

<デザインイメージ>

都市の隙間に人が落ち着ける居場所を生み出すようなデザイン



参考例:Slit Park YURAKUCHO(庭 NIWA HP)

境界の曖昧さが居心地の良さにつながるデザイン



参考例:The CAMPUS(BAMBOO MEDIA HP)

## 南北自由通路デザインの検討

### (1) 過去のデザイン会議での主な意見 (第1・3回会議より抜粋)

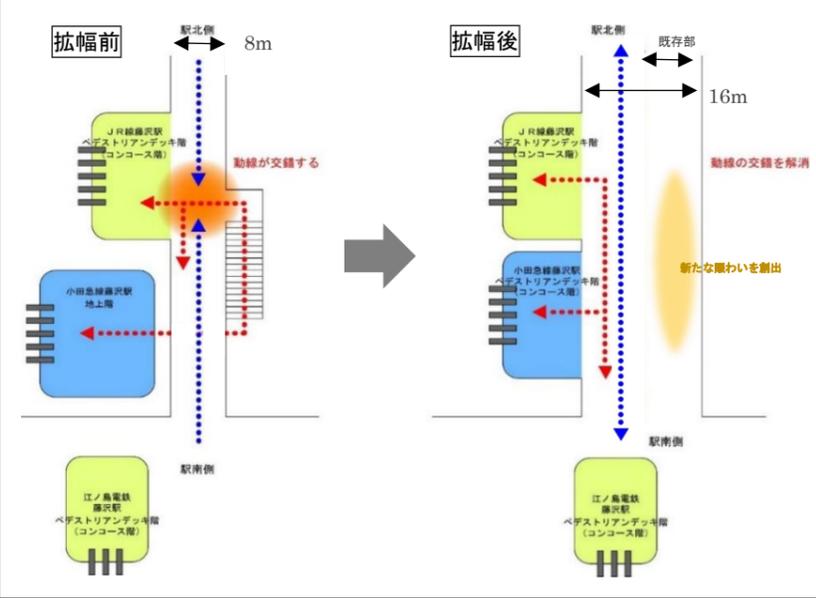
- ・既に完成している北口と新たに整備する南口をどのようにつなぐかが大事。
- ・藤沢駅については、広場性も加味した通路としてのつくり方も考えるとよい。
- ・エリマネによる広告展開の可能性も想定される。
- ・物販や催事などの空間活用イメージを含めて整理してほしい。
- ・デザインを考える上でコンセプトは大事(前提)となる。
- ・機能性を重要視したい。まちと鉄道とが一体となった流動としたい。
- ・あまり先回りして考え始めると意見が言えなくなる。例えば、明るい場所がいとか、待ち合わせする場所、座る場所、そこには緑が欲しいなどの意見が出るとよい。

- (その他、詳細設計の変更時に特に留意すべきご意見について)
- ・イメージではなく、基本的な部分はデータに基づいて理論的に決めるべき。
  - ・デザインと機能は切り離せない部分もある。改札口の視認性等にも注意。
  - ・誘導用ブロックとの明度差などの現実的な問題を加味した方がよい。
  - ・これからの情報発信としてはデジタルサイネージが前提になる。
  - ・運用上の課題に配慮し、人の流れ、滞留場所、色や光、素材などを検討する必要がある。

### (2) 南北自由通路の課題及び拡幅の目的等

- ・JR線と小田急線の乗り換え動線と駅の南北を往来する人との流動が自由通路で錯綜するため、街の南北の流動を妨げている。
- ・駅から街への回遊を誘発する動線が不足している。
- ・ちょっとした休憩や待ち合わせをするスペースがない。
- ・イベントスペースが限定的である。

- ➡ ●まちの南北連携の強化(利便性、回遊性の向上)  
●鉄道の乗り換え動線の円滑化

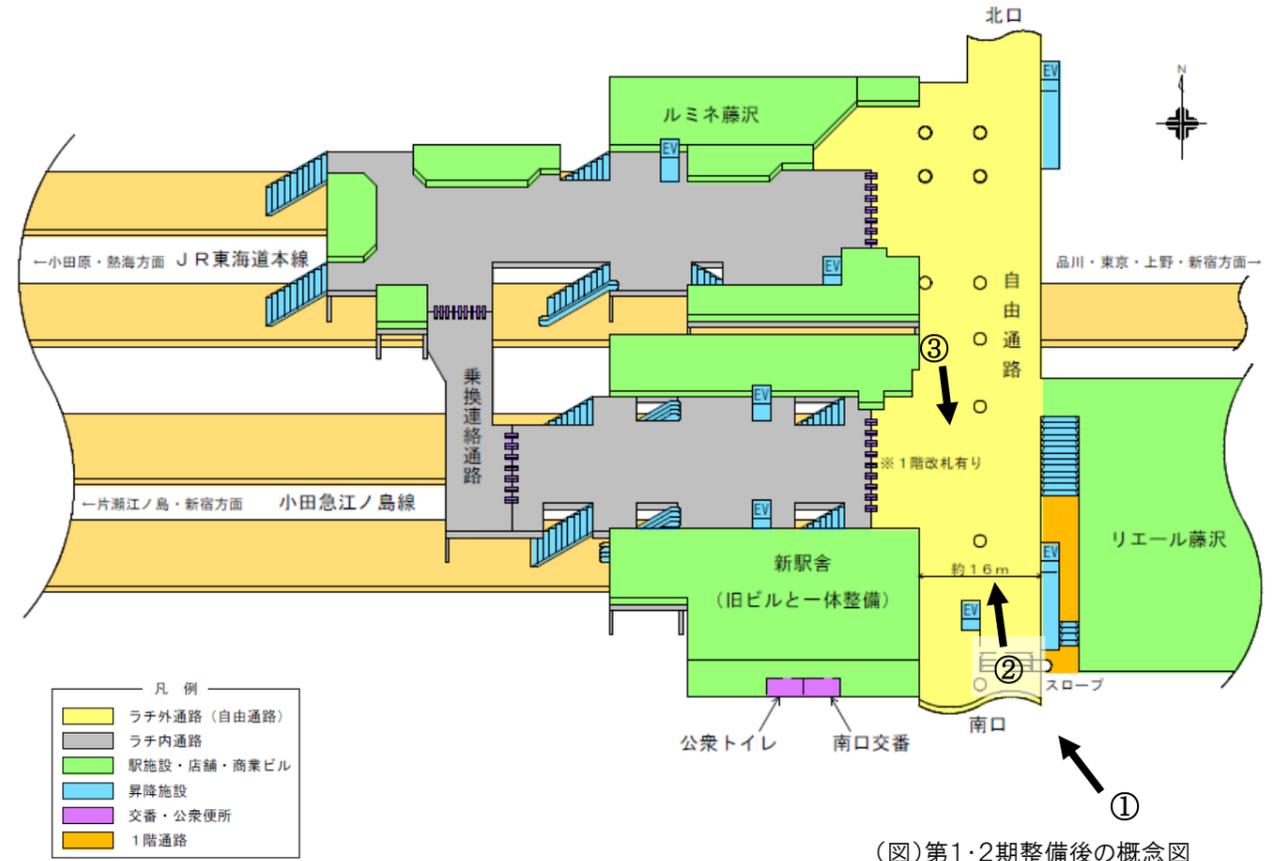


### (3) 南北自由通路の位置づけ

- 通路機能**
- ・北口と南口を結ぶ通路
  - ・JRと小田急、江ノ電の乗り換え動線
  - ・改札から出て、街へのにぎわいに繋げる空間
- 広場機能**
- ・エリアマネジメント等によるにぎわい創出(物販、催事)
  - ・ちょっとした休憩、待ち合わせ空間
  - ・案内板の設置等、交通誘導機能



(図)南北自由通路の外観イメージパース(南口)



(図)第1・2期整備後の概念図

### (4) 南北自由通路に必要と考えている機能

- ・サイン、案内板
- ・ベンチ等休憩スペース
- ・広告設置スペース(デジタルサイネージ)
- ・エリアマネジメント活動スペース
- ・点字ブロック、エレベーター等のバリアフリー動線
- ・スプリンクラー等の消防設備



(図)南北自由通路空間イメージパース(小田急側)





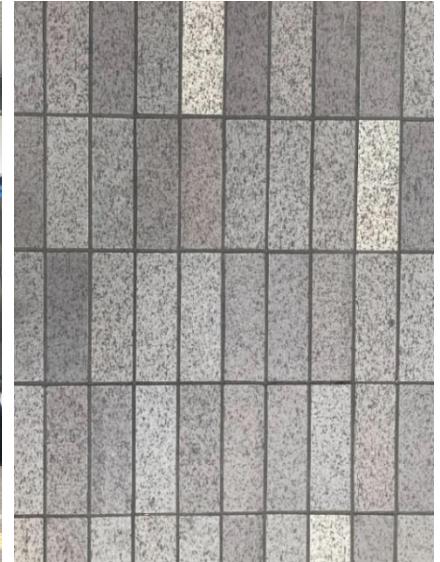
1.南口広場からみた自由通路



2.南口広場の床面



3.北口デッキからみた自由通路



4.北口デッキの床面



5.JRと小田急の接続部分(その1)



6.JRと小田急の接続部分(その2)



7.JRと小田急の接続部分(その3)



8.商業施設(リエール)との接続部分



9.イベントスペース



10.壁面広告

## 南北自由通路のデザイン検討に向けた諸条件整理

資料4

本資料は、南北自由通路のデザインを検討するにあたって、整理すべき内容を諸条件としてまとめたものです。項目ごとに整理すべき内容を記載しており、それぞれ「市の見解」と「会議での検討事項」を整理しています。

| 項目          | No. | 整理内容   | 市の見解   | 会議での検討事項  |
|-------------|-----|--|--|---|
| (1)設計条件     | 1-1 | サイン計画の位置・大きさ・色などの自由度(市規定等の確認)                              | 藤沢市公共サインガイドラインとの整合を図ることを考えております。   | デザイン含めたサイン計画の考え方についてご意見を伺いたく存じます。   |
|             | 1-2 | 柱周りの活用(ベンチ、広告等)  | 夜間における長時間の居座り行為の防止策を図りつつ、柱周りにベンチを設置していきたいと考えております。                                       | 柱周りのベンチのデザインについてご意見を伺いたく存じます。<br>滞留空間として柱周りへのベンチの配置以外の考え方なども含めご意見を伺いたく存じます。 |
|             | 1-3 | エレベーターの外枠(全面ガラス、壁等)  | 籠及び昇降路の出入口の戸にガラスその他これに類するものがはめ込まれていることにより、籠外から籠内が視覚的に確認できる構造とすること。(藤沢市道路の移動等円滑化整備ガイドライン) | エレベーターのデザインについてご意見を伺いたく存じます。  |
|             | 1-4 | エリアマネジメントの活動内容及び範囲   | 催事・物販スペース等を想定しており、活動範囲を床面デザインによる線引はしない方向で整理したいと考えています。概ね既存自由通路部分での活用を想定しています。            | 自由通路内におけるエリアマネジメントの活動が及ぼすデザインの考え方についてご意見を伺いたく存じます。                          |
|             | 1-5 | 広告物の考え方(デジタルサイネージの可能性、位置や個数など)                             | 将来的な指定管理業務の重要な収入源とも考えており、天井や壁面等への広告(デジタルサイネージ未定)を配置できればと考えております。                         | 自由通路内における広告の掲示が及ぼすデザインの考え方についてご意見を伺いたく存じます。                                 |
|             | 1-6 | 視覚障がい者誘導用ブロックによる色合い・配置の影響(カラーバリアフリー等)                      | 敷設位置は、原則民地寄りの境界側に直線的に配置しますが、詳細設計変更時に設計者と協議します。   | —   |
|             | 1-7 | スプリンクラーの設置の影響  | 天井部にスプリンクラーを設置します。   | —   |
|             | 1-8 | 案内板等の必要機能の設置位置   | 案内板等は適切な位置に設置します。設置位置については、詳細設計変更時に設計者と協議します。  | —   |
| (2)デザインの考え方 | 2-1 | 天井形状などJR側の空間と小田急側の空間が大きく異なる中での統一感の考え方                      | —  | デザイン会議でご意見を伺いたく存じます。  |
|             | 2-2 | 北口デッキ(整備済)の床材や境目との調和の考え方(北口デッキの素材:せつ器質タイル(3色MIX+白色)293×93) | —  | デザイン会議でご意見を伺いたく存じます。  |
|             | 2-3 | 南口広場(整備予定)の床材や境目との調和の考え方                                   | —  | デザイン会議でご意見を伺いたく存じます。  |
|             | 2-4 | デザインコンセプト及び整備済事業とのデザインの整合性                                 | —  | 「安心・安全」「分かりやすい」「にぎやか」「自然・明るい」「温もり・優しい」の表現について、デザイン会議でご意見を伺いたく存じます。          |
| (3)調整事項     | 3-1 | 第1期と第2期の境目をどうするか   | 第2期事業が第1期事業の検討結果を引き継げるよう協議していきます。  | —   |
|             | 3-2 | 駅舎本体のデザイン、改札及びコンコースのデザインとの整合性をどうするか                        | デザインの調和が図られるよう、設計者と調整します。  | —   |
|             | 3-3 | 小田急駅舎側の外周デッキ(床・手すりなど)のデザインとの整合性をどうするか                      | デザインの調和が図られるよう、設計者と調整します。  | デザイン会議でご意見を伺いたく存じます。  |
| (4)その他      | 4-1 | 使用素材の荷重等の調整  | 詳細設計変更時に設計者と調整します。   | —   |